

脳ドック・心臓ドック

医療法人 稲仁会
旭川脳神経科 病院

院長 田之岡 篤

旭川市10条通21丁目

☎0166-33-2311

診療時間 ▶ 9:00~17:00

月~金 9:00~12:00

土 日 祝日

休診日 ▶ 日・祝日



稲葉芳絵医師

旭川脳神経外科病院は脳神経外科の分野で旭川の医療界をリードしてきた。さらに今年7月からは心臓血管カテーテル治療専門医の稲葉芳絵氏(41)を迎えたことにより、診療科目に循環器内科を加え、生命の根幹をつかさどる脳と心臓の専門病院となった。

稲葉医師は心臓カテーテル治療で有名な千葉西総合病院や心臓血管外科循環器疾患の治療で知られる鎌ヶ谷総合病院で心臓カテーテル室長、循環器部長を務め、心臓カテーテル治療では年間306症例という日本屈指の実績も残している。

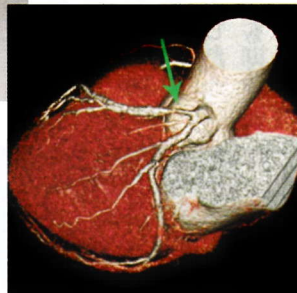
同病院では、稲葉医師の着任、循環器内科の新設に伴い、道内

循環器科新設、心臓ドック開始 生命の根幹つかさどる脳と心臓の専門病院

れる変性した脂質がたまり続け、そこにある日突然血栓が詰まった時に発症します。しかし、事前に自分の冠動脈の状態を知っておけば発症は予防できます。

でも数少ない低被爆の最新鋭心臓カテーテル検査装置(SHIMAZU社)や、狭心症の原因となる冠動脈(心臓を取り巻く血管)の詰まりを発見する「マルチスライスCT」を新規導入した。

この機器の導入と優れた画像解析によって実施されるのが、旭川ではまだ珍しい「心臓ドック」。心筋梗塞や



心臓マルチスライスCTの一例。心臓の血管(冠動脈)の狭窄がある。

狭心症、心不全といった心臓病の早期発見に絶大な威力を発揮する。

心臓病の代表的疾患である心筋梗塞は、一般的には胸が苦し

いなどの前症状があつて発症すると思われているが、実際には7割以上が予期することなく発症しており、糖尿病を持つ人に至っては9割以上が突然発症している。

また、前症状があつたとしても軽微で持続時間も1分程度と短いため、次に来る重大疾患を予見できないまま突然発症に至るケースが多い。こうした事態を予防できるのが心臓ドックである。

「心筋梗塞は、長い年月をかけて血管の中にプラークと呼ば

た時に発症します。しかし、事前に自分の冠動脈の状態を知っておけば発症は予防できます。

動脈硬化リスク(高血圧、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症、喫煙の既往など)のある方、もしくはは男性なら65歳以上、女性なら75歳以上の方は、一度心臓ドックを受けてみるのが循環器医の視点からみて望ましいと思われ(稲葉医師)

心臓ドックで威力を発揮するマルチスライスCTは冠動脈の狭窄の発見に有効。大きな輪のような機械の中を身体がぐぐり、数十秒ほど息を止めるだけで冠動脈の異常が分かるという体に優しい安全な検査法なので、誰でも安心して検査が受けられる。異常が見つければワンストップで治療も受けられる。

旭川脳神経外科病院では、旭川から心筋梗塞の患者がゼロになることを目指して啓蒙活動に力を入れている。



シネアンギオ装置(血管造影装置)